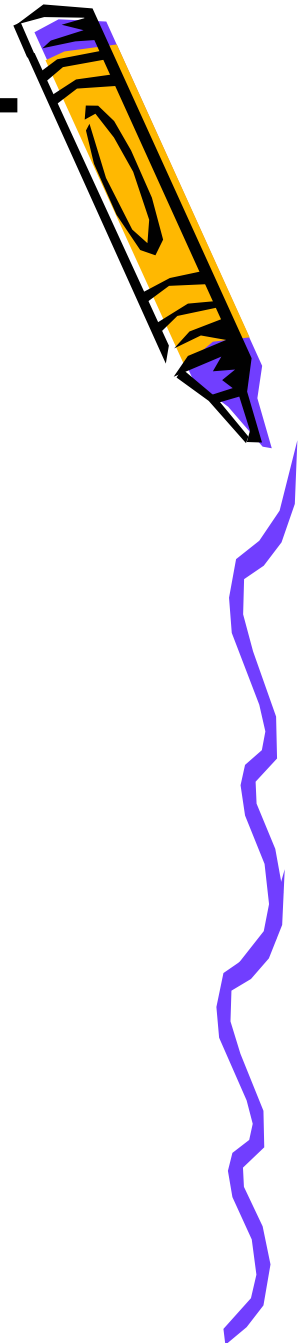
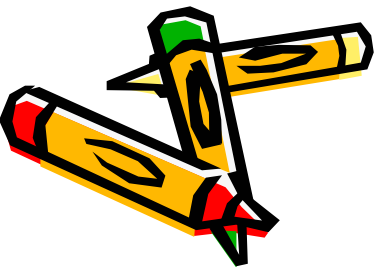


卒業論文の書き方 & 文献研究

- 論文作成手順
- 要素・構成
- 文献研究
- 卒業論文体裁

担当：李 態妍



卒業論文作成手順



- テーマ設定
- 先行研究、文献収集（実践：ヒント1）
- 分析方法を決定
- データ収集、整理、分析、解析
- 論文作成：文章化、図表化
- 体裁を整う（実践：ヒント2, ヒント3）



文献研究：注意事項



- 研究テーマに関連する文献を収集
 - 過去にどのような先行研究があったのかをチェック
- 文献を読む（内容）：「例」を参考
 - その研究分野で使われる一般的なアプローチとは？
 - 使われている学術用語は？
 - 分析内容・結果は？
 - 全体構成は？
- 文献を読む（実践）：メモを取る
 - 箇条書き（骨格）
 - 骨格に少しずつ肉付け
 - 引用（参考）した文献は論文の最後に参考文献としてまとめる：出所などを記録



文献を読む：例



- テーマ設定

- テーマ（各自の話題）について
- 先行研究を調べ、文献を収集する
- 文献を10点以上収集し、読む

- 各文献について下記の内容をチェックして書き出す

- だれ、いつ、何のために、どのような方法で、調べたか？
- その結果は？あなたはその方法および結果に対してどう思うか？



論文の構成要素



- どのような問題について
- どのような目的で
- どのような方法を用いて
- どのように分析or調査を行ったか
- その結果、何が明らかとなったか
- どのような結論（考察&評価）が導かれたか





卒業論文の本文

序論 + 本論 + 結論



序論

- その研究を行う動機
- 行おうとしている研究の必要性や問題の所在
- 先行研究
- 先行研究の不足点を指摘
- 論文の目的、課題の設定、分析や調査の方法、構成など



本論

- 研究方法：回帰分析、アンケート調査、理論分析など
 - 必要性・根拠を明確に
- データの出所及び分析内容
- 得られた結果
- その結果についての考察



結論（まとめ）



- もう一度、分析結果や調査結果の重要な点を簡単に列挙し、その意義と将来の展望について言及しておく



作成における注意事項

- 論点を絞る（論文の長さを考慮し、1つか2つに）
- 論点を支持する資料・データを用いる
- 図表を用いる場合、本文で解析を行うこと
- 構成：主張 理由 根拠 まとめの順にする（何を主張する、それを主張する理由、その根拠）
- 事実と意見を区別して書く
- 文書を簡潔に書く
- 体裁を統一する
- 参考文献などその他の書き方に関しては『経済学への道』、『履修要綱』p38を参照
- 本やインターネットの文章をそのままコピーしたり、引用先を書かずに無断で丸写する場合、評価しない





卒業論文の体裁

- 表紙：タイトル、学籍番号、名前、日付
- 目次
- 本文（脚注）
- 注、参考文献、参考資料、使用データ
セットなど



卒業論文提出要領



- 提出日：12月2-3日（教務課）
- テーマ：自由
- ワードプロ利用（word,一太郎など）
- 用紙サイズ：A4、上質紙（白）、黒字印刷
- 枚数：1行40字×30行×20枚、2部
- 書式：横書き、余白：左右20mm、下25mm
- ページ番号：下中央（底より10mm程度の位置）
- その他の事項：「履修要綱」p38を参照



Word設定の仕方



- ページ設定：「ファイル」 「ページ設定」 「文字数と字数」 「文字数と実数を指定」を選択 文字数：40字、行数：30行に設定
- 本文の章節項のタイトル：[見出し]をつける。例) 章：見出し1、節：見出し2、項：見出し3など
- ページ番号：「挿入(I)」 「ページ番号」 位置：ページの下、配置：中を選択。表紙にページ番号をつけない場合、「最初のページに番号・・・」のチェックをはずす
- 脚注、図表番号、目次：「挿入(I)」 「参照」 それぞれの項目を選択
- 数式：「挿入(I)」 「オブジェクト」 「数式」を選択

